



好きなことを夢に、その為に今すべきこと ～里親様、お客様との交流を通して～



2018年 気持ちを新たに

新年を迎え、あっという間に1カ月が経ちました。昨年を振り返り、気持ちを改めるように今年も1人ひとり抱負を書き、通路に掲示しました。昨年書いた抱負を守ることが出来た子は何人いたのか、読み返すと苦笑いという結果でした。

今年は勉強やお手伝いを頑張るという内容以外に、歴史の本をたくさん読む、自分で小説を3作品書く等の具体的な抱負が増えました。1年後の自分が今より成長し、抱負に書いた事をやり遂げたと胸を張って報告が出来るようにしてほしいです。

今回の「Dream通信」では、教育支援ツアー、サッカー

HONDA ESTILO様の来園、里親様とのスカイプの様子、新しく入園した子どものご紹介を致します。

教育支援ツアー

1月6日に代表理事引率のもと、ご支援者様、スン・ティダエン(小4)の里親様が来園して下さいました。

ティダエンはバスから降りてきた里親様をすぐに見つけ、笑顔で手を振ります。新しく入園した子どもたちは初めて会う代表理事に1人ひとり挨拶をしました。初めは緊張気味だった子どもたちの表情も、代表の笑顔を見て、和らいでいました。

歓迎の踊りと楽器は、今回新しいメンバーで新しい曲目を披露、衣装にも力を入れました。代表理事、お客様から「新鮮で、とても良かった」とお褒めの言葉をいただきました。

園内回りでは農場のゴミが多かったことや、生活習慣について指摘がありました。代表理事と学年MTGでは子どもによって、厳しい指導もありましたが、すべては子どもたちの為の愛情であるということを知ってほしいと思いました。

職員理念研修では、子どもに一番影響を与える存在は職員であり、その子に合った教育を考え指導することが大事であることを学びました。職員には自分たちの姿が子どもたちに表われていくということを意識し、子どもたちにはたくさんの人に愛情を持って育ててもらっていることに感謝し、今自分がしなければいけないことは何か、1人ひとり考えてもらいたいです。



手を合わせて、始めましてのご挨拶



里親様へ写真のプレゼント

サッカースクール、夢講演



見事ゴール 仲間と喜びを分かち合います

カンボジアの子どもたちにサッカーを通して夢を持ってもらいたいという思いでサッカースクールを開校されているHO NDA ESTILO様が来園され、サッカーの楽しさや喜び、サッカーに関わる仕事について、夢の大切さをお話してくださいました。サッカー選手になることが夢であるラン・ソチュット(高2)は特にたくさん質問をしていました。今回の話を聞いて、より一層夢への思いが強くなったのではないかと思います。

サッカーという好きなことを仕事にしている姿は、子どもたちにとってとてもまぶしく見えたと思います。

最後は楽しむこと、挑戦することを心掛け、皆で一つのボールを追いかけ、爽やかな汗を流しました。

子どもたちには夢というゴールに向かって、失敗しても諦めず、努力をし続けられる人になってほしいと思います。

里親様とスカイプ交流

「お父さんとスカイプで話したい」という子どもの声をカタチに、11月から里親様と里子のスカイプによる交流が始まりました。

休憩時間などの空いた時間に、出先から掛けてきて下さったり、ご家族様やペット、愛用の自転車や晩ご飯の紹介、外の景色などを見せて下さる等、スカイプならではのやりとりに子どもたちは笑顔が溢れます。「園に遊びに来てくれますか？」という里子からの質問に、「会いに行くよ」と約束して下さる里親様もいました。

スカイプを通してたくさんの里親様に、写真や手紙では伝えきれない、表情や声をお届けし、会話というキャッチボールをしていただけたら嬉しいです。

スカイプのお問合せ、心よりお待ちしております。

新入園児 ノン兄弟

新しく2人の兄弟が家族になりました。両親は離婚し父親と生活していましたが、父親の仕事は乏しく「安定した生活を送らせることが出来ない。子どもたちには安定した生活を送り、明るい未来を歩んでもらいたい」という父親からの要望で、入園することになりました。

12月に体験入園を行い、すぐに他の子どもと打ち解け「ここに住みたい」と決めました。

兄のチャンナーはやんちゃで、ダネーはまだまだあどけないですが、2人とも素直で良い子です。

父親の希望通り、2人の未来が明るいものになるように、園でしっかりと生活習慣と人格を身に付けてほしいです。



試合前 お互いの健闘を祈ります



スカイプを通してお手紙のお礼を伝えます



チャンナー(12歳・小3) ダネー(7歳・小2)